

高 1

英語	英語 T	高校英文法における重要単元の一つであり、英語の理解には欠かすことができない「分詞」の習得を、解説と演習を通して図ります。分詞を根本から理解した上で、京都大・大阪大などの難関大学で出題される英文読解、英作文にも応用できる力を育成します。
	英文法復習講座	「文型」「時制」「不定詞」に焦点を当て、基本事項の確認、加えて様々な形式の問題の演習と解説を通して、実践的な知識の習得をはかります。夏期講習から入会される方を含めて、1年生の間に英文法の基礎を確立させたい方におすすめの講座です。
	英語 S C	泉陽高校1年生の方対象の講座です。重要単元を数多く学習することになる夏期講習明けの学校の授業に向けて、先取りの学習をします。学校と並行した授業進度では余裕を持てなかった方、基礎内容に加えて発展内容の学習、演習をしたいという方に受講していただけます。
数学	数学「三角比」 T/H	cos、sin、tanの意味と性質を理解し、図形問題への応用法を学びます。初等幾何では扱いにくい問題が、これらの定理によって簡単な計算問題になってしまう様子を目の当たりにしていただけます。三角比の意味とイメージを大切に、公式が成り立つ理由まで詳しく解説していきます。
	数学 S C	泉陽高校1年の方を対象とした数学の講座です。学校の進度に合わせて、数学ⅠまたはAの内容を講義（学校の進度によっては復習も含む）します。高1の間に学習する内容は、以降の学習の土台となるものばかりです。授業ではその中でも特に重要な事項を精選し、指導します。
	数学Ⅰ A 演習（上級編）	数学Ⅰ Aの既習単元について演習を通じてより深く学びたい方、数学に自信がある方が対象の講座です。「2次関数」と「場合の数」の大学入試レベルの問題に触れることで、知識とその活用方法の整理を行っていただけます。*受講基準：2次関数、2次方程式・不等式、場合の数をすべて学習していること。
	数学Ⅰ A 演習（標準編）	数学Ⅰ A「数と式」「2次関数」「場合の数」について復習したい方が対象の講座です。「数と式」「2次関数」はこれからの数学にも深く結びつく単元、「場合の数」は入試頻出の「確率」に直結する単元です。これらの重要単元をしっかりマスターすることで、高校数学の学習ペースをつかみましょう。*受講基準：数と式、2次関数の最大・最小、場合の数を学習していること。
国語	現代文・古文 H	現代文・古文を各2日扱います。現代文分野では、「国語力・日本語力」に基づいた読解力の向上はもちろん、論理的思考力の向上を目指し、大学入試、そしてその先まで活用できる学力の育成を目指します。古文では、古典文法の基本を振り返りつつ、それを応用した読解法について学習します。*オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
理科	物理基礎・化学基礎 H	物理基礎、化学基礎を各50分で扱います。物理では、仕事、力学的エネルギーとその保存則、熱のまとめを、化学では、様々な反応式での反応物と生成物の量的関係を中心に、物質量を基盤にした各種諸量計算を扱います。どれもその後扱う分野でキーとなる重要な項目ですので、理解を深めしっかりと身に付けてもらう講座です。

英検®対策

英語	英検®準1級対策講座	必須英単語の習得や英文読解、英作文の解説だけでなく、ネイティブ講師によるリスニング、2次面接の対策も行います。準1級は相当な対策を要しますが、英検2級所持者の方は、本講座でぜひ準1級受験にチャレンジしてください。*60分×15回の映像講座です。形式や受講料等の詳細は、別紙にてご案内いたします。
	英検®2級対策講座	高校英語で学習する英単語や英文法の知識の習得・整理に加え、基礎的な英文読解や英作文の解説、ネイティブ講師によるリスニングや2次面接の対策も行います。英検2級取得を目指すことは共通テストの対策にもつながるので、本講座でぜひ2級にチャレンジしてください。*60分×15回の映像講座です。形式や受講料等の詳細は、別紙にてご案内いたします。

高 2

英語	京大・阪大への 英語 T	重要文法事項を整理しながら、「なぜそのようになるのか」の視点から踏み込んだ指導を行います。抽象的で難度の高い入試英文の読解法やその背景について学びます。英文文では、「英作文を書くための英文法」をマスターすることを目標とし、添削指導を通して論理的で自然な英文の書き方を学びます。
	神大・大阪公立大への 英語 H	大学入試頻出の「it を含む構文」と「挿入」について、難関大学入試問題の英文を用いて指導を行います。代名詞だけではなく、形式主語・形式目的語や強調構文などでも用いられる it、加えて難読文でよく見られる「挿入」についてここで整理しましょう。
	英語 S	大学入試頻出の「it を含む構文」と「挿入」について、基礎をかためる指導を行います。代名詞だけではなく、形式主語・形式目的語や強調構文などでも用いられる it、加えて難解な英文でよく見られる「挿入」についてここで整理しましょう。
	必修英文法	英文法について応用力を身につけたい方対象の講座です。構文理解から英文文まで対応できるように、「文型」「準動詞」にしばり演習、解説を行い英文法の応用の方法を学びます。基本事項の整理が行われていることを前提として授業を進めていきますので、事前に該当範囲を復習しておきましょう。
	いちから出直し英文読解	SURの英語の授業では高2から読解を中心に扱っていますが、本講座では今一度読み方の基礎を再確認します。ただ復習だけではなく、さらに踏み込んだ内容も指導しますので、英語H、Sを受講している方は、原則全員受講してください。この講座を受講することで、英語の読み方の概要がわかるようになるでしょう。
数学	京大・阪大への 数学「積分法」 T	数学Ⅱ「積分法」を扱います。微分・積分の計算は、システムがあまりによくできているため、理論を知らずとも丸暗記で答が求まりますが、それでは難関大入試の要求に応えられるレベルには至りません。この単元を通じて、京都大や大阪大などの最難関を目指すための視点や考え方を理解することに重点を置いて指導します。※受講基準：数学Ⅱ「微分法」の計算を学習していること。
	神大・大阪公立大への 数学「積分法」 H	数学Ⅱ「積分法」を扱います。微積分は文系・理系を問わず入試頻出の単元です。計算だけなら丸暗記でできる単元ですが、国公立大2次試験レベルの要求は当然その先にあります。この講座ではその要求に応えるための考え方を理解することに重点を置いて指導します。※受講基準：数学Ⅱ「微分法」の基本的な計算を学習していること。
	数学 S	12月期までは泉陽高校の学校進度に合わせたカリキュラムで、大学受験に必要な数学の実力を養成します。泉陽高校以外の方も、上記の数学T、Hの進度では速すぎるという場合はお勧めです。冬期講習以降は、入試に向けた準備として数学ⅠAⅡB Cの重要事項の復習を行います。夏期講習では夏休み明けの学習がスムーズに進むよう単元の先取り学習をします。
	数学「入試数学攻略法」 (上級編)	これまでに学習した内容の、「解法」に焦点を当てた復習講座です。不等式、対称式、絶対値、文字定数分離などをテーマに、基本事項から高度な問題への活用までを講義します。入試数学において、これらは単元の壁を越えた計算の基礎となり、得点に強く結びつきます。本講座で確かな力を身につけてください。
	数学Ⅱ演習 (標準編)	これまでに学習した、三角関数、指数・対数関数、図形と方程式などの数学Ⅱの各単元から入試で頻出となる重要問題を解説する講座です。各単元の確かな知識が入試問題を解くためのカギになりますので、この講座で数学Ⅱの復習をしましょう。
	数学「場合の数と確率演習」 (上級編) / (標準編)	「場合の数」「確率」の復習がしたい方対象の講座です。この単元は、公式に当てはめて解くだけでは教科書レベルを超えることはできません。特に入試問題では公式をどのように応用するかが大切になります。この講座では数え方の基礎から復習を行い、入試頻出問題に対応する力を身につけます。
理科	物理「円運動・単振動」 H	物理を選択している理系の方を対象とする講座です。「円運動」、「単振動」は入試で頻出の分野ですが、苦手とする高校生が多いです。この講座では暗記に頼らずこの2分野の問題を解くための「考え方」に加えて、力学の問題を扱うコツを伝授します。8月期以降に扱う「波」単元に繋がるので、是非この夏から物理を始めましょう。
	化学 H	難関大を目指す理系の方を対象とする化学の講座です。本講座では高2の間に化学基礎+理系化学を体系的に網羅し受験学年に備えます。夏期講習では理論化学分野より「熱化学方程式」「結合エネルギー」「金属の結晶」「イオン結晶」の各単元について、基本～標準レベルの入試問題を演習および解説します。

高3

英語	英語 T	トップレベルの英文を用い、構造分析、下線部和訳、マクロ的読解を指導します。抽象度の高い重要語の概念理解、論理的思考力の養成だけでなく、難語を含んだ読解法に至るまで様々なテーマと形式に対応できる力を身につけます。また、添削指導を通して、論理的で自然な英作文の方法も指導します。
	英語 H / S (読解編)	大学入試で最も大きな割合を占めているのが英文読解です。長文を素早く読んで内容を解釈するためには英語を一文一文を正しく読む力に加えて、論理的なつながりを意識する必要があります。この講座では長文を読む技術である「パラグラフリーディング」の基礎を指導し、実践的な読解力向上を目指します。
	英語 H (英作文編)	神戸大、大阪公立大、同志社大などの難関大志望の方対象の英作文の講座です。英作文に必要な文法事項の確認と添削指導を通じて、文法単元やテーマ別に確かな知識に基づいた英文の書き方を指導します。※原則 50 分の講義 + 答案の添削で、単位数は 2 単位となります。
	英語 S (英文法編)	最近受験で頻出の文法事項に焦点を当て授業を行います。様々な文法問題を総合演習形式で解いていただきますので、現在自分にどの程度文法力があるのか確認することができます。私立大専願の方はもちろん、国公立大志望の方にもこの講座を受講することをお勧めします。
	共通テスト英語リーディング	共通テストの英語は、すべての大問が読解問題で、その分量はかなりのものです。もちろん読解力を高めることも重要ですが、長くない制限時間の中でどう時間を配分して解答するか等の作戦も同等に重要です。本講座では模擬問題を通じた演習と解説を通じ、問題の特徴を知り、情報処理の速度と正確さを磨きます。※ 200 分 × 2 回です。
	共通テスト英語リスニング	共通テストの英語リスニングは、多くの大学では配点率が低めにはなっていますが、独習が難しい科目でもあり、不安に感じる方も多いのではないのでしょうか。当講座で、早期から「普段の学習で心掛けるべき対策」と「過去問をふまえた対策」を意識した学習をすることで、高得点を狙いましょう。
数学	数学 I A II B C - T	数学 I A II B C の全範囲について、京大・大阪大レベルの問題演習および解説をする講座です。なぜそのような解法なら正解に結びつけられて、別の解法だと途中で解けなくなるかといった解法の見極め方、および初見の問題に対してどのようにアプローチをすれば正解に辿り着けるかを中心に解説します。
	数学 I A II B C - H / S	数学 I A II B C の「確率」「数列」「ベクトル」といった入試頻出の重要単元について、入試問題演習を行い、基礎知識を確認して弱点補強するとともに、定番の解法に関してなぜそのような解法なら正解に結びつくのかといった解法の選択のポイントを解説します。
	数学 III C - T	理系数学の入試問題で配点が高く、合否への影響も大きい数学 III C について、そのハイレベルな頻出重要問題を演習し、その解法を講義します。パターン演習ではなく、この分野における問題解決力と論理的思考力、確かな計算力を身につけ、入試実戦力を養います。
	数学 III C - H	理系数学の入試問題で配点が高く、合否への影響も大きい数学 III 「微積分」などについて、頻出かつ重要なテーマを扱います。扱う問題は当講座が目標とする大学の本番レベル相当の難易度です。この夏で数学 III C の重要テーマを押さえつつ、相手を知ることで残りの期間の学習効率も高めましょう。
	数学 III 計算特訓	数学 III の計算に不安のある方対象の講座です。数学 III では他の分野とは一線を画す質・量の計算力を要求されます。公式が多数登場し、計算方法もテクニカルで、複雑です。この講座を受講することで、必要な知識、技術を短時間で身につけられ、さらに計算を最後まで完遂できる力も身につけられます。
	共通テスト数学	共通テスト数学の問題分析と、予想問題の演習・解説を行う講座です。2 次試験とは異なる「共通テストにこそ必要な力」とはどんなもので、それを本番までに高める学習の仕方についても講義します。主に文系の方を対象としています。※数学 I A が 2 回、II B C が 2 回です。I A のみの受講も可能です。
国語	現代文 T H	京大、阪大をはじめとする難関国公立大・難関私立大の合格を目標に、読解法と解答法の応用力を身につける講座です。夏期講習では記述問題を中心に扱います。本文の要点を適切に把握・整理するスピードを上げるだけでなく、設問の要求を正確に分析し、解答を組み立てる方法を学習します。
	現代文 H	関関同立大や産近甲龍大の合格を目標に、現代文の普遍的な読解法や、論理的な解答法を学習する講座です。4 月期～7 月期で学習した内容の復習も行いながら、夏期講習では実戦力の完成を目指します。時間制約を意識して本文を正確に読み解く力や、設問を分析するアプローチの方法について学習していきます。
	共通テスト現代文	本講座では、新課程になり、さらに複雑かつ難化が予想される共通テスト現代文に特化した対策を、実践的に学習します。制限時間内に文章内容を客観的に把握し、設問に論理的に解答するにはどうすれば良いのか、さらに、実用的文章も含めた共通テストに特有のポイントを、実際の入試問題・試行調査を踏まえて学習していきます。
	古文 T H	古文読解の基礎となる文法力の育成に加えて、文の展開を論理的に類推しながら、全体の内容を把握する方法を講義します。また、共通テストや私立大の客観問題の解法に加え、国公立大の 2 次試験や難関私立大で出題される論述式解釈問題の解法を指導します。※オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
	古文 H	関関同立大や早稲田大、GMARCH を中心とする私立大入試の問題文を扱うことで、出題形式を知るとともに、古文読解の基礎となる単語力と文法力を整理・強化していきます。また、この基礎力を土台とした、長文の読解方法（人物把握法など）や客観問題の選択肢の絞り込み方を指導します。
	共通テスト古文・漢文	古文の読解においては文法力と単語力、漢文においては句法が大切ですが、選択肢を利用した本文の読解法など、共通テストの古文、漢文には独特の解法があります。その解法により高得点を目指す講座です。特に国公立大理系志望の方におすすめの講座です。
古典文法復習講座 A / B / C	文法知識の補強を図りたい方のための映像講座です。「ポイント講義→演習→解説」の形式で基礎事項の理解を深め、文法問題や短文現代語訳問題を解く力を養うだけでなく、読解に使える文法力の習得を目指します。※各 100 分 × 4 回の映像講座で、【A：用言・助動詞】【B：助詞・敬語】【C：識別・和歌の修辞法】の 3 講座があります。	

理科	物理「熱力学」 T/H	レベルに応じた講義、演習を行い、入試問題に対する実戦力をつけていきます。この講座では熱力学を一通り学習し、共通テスト、二次入試どちらにおいても重要な熱力学の考え方を身につけていただけます。Tクラスは京都大、大阪大など、Hクラスは神戸大や大阪公立大、関関同立大志望の方向けです。
	物理「電気」 T/H	レベルに応じた講義、演習を行い、入試問題に対する実戦力をつけていきます。この講座では電気分野の電場、電位からコンデンサーの性質まで取り扱い、電磁気全般の核となる考え方を身につけていただけます。Tクラスは京都大、大阪大など、Hクラスは神戸大や大阪公立大、関関同立大志望の方向けです。
	化学「反応速度と化学平衡」 H	理論化学の最重要分野である反応速度、気相平衡、電離平衡、溶解度積について講義および演習する講座です。難関国公立大学の2次試験では、反応速度や平衡の問題が勝敗を分ける大きなポイントになります。現役生においては演習が不足しがちな分野なので、夏期の間に克服しておきましょう。
	化学「有機化学演習」 H	化学を選択している理系の方を対象とする、有機化学についての実践的な演習および解説の講座です。入試で出題された良問を題材に、基本知識をどのように応用するかという理論を中心に解説を行い、確実に正解に辿り着く方法をお伝えします。
	入試生物	身につけた基本知識を前提に、合格点+αの得点を目指して演習を積み重ねます。入試問題演習を通じて、細かい知識ではなく、合格点を取るための生物のコアになる部分を習得してもらいます。丸暗記するのではなく、しっかりと理解してもらえば必ず合格点が取れるようになります。1講座 120分×4回で、2つのユニットに分かれています。
	共通テスト 物理/化学/生物(練成編)	大学入学共通テストで80%以上の得点を目指す受験生が対象です。物理、化学、生物の3科目から必要な講座を選択してください。1講座 120分×4回です。物理は力学・波動、化学は理論化学、生物は生命現象と物質など、共通テストで必要な知識を確認します。
	共通テスト 化学基礎/生物基礎/地学基礎(実戦編)	共通テスト形式の演習問題を通して、各科目の必須知識の総整理を行うとともに、思考力・判断力を要する共通テスト理科基礎の問題にどのようにアプローチし、正解を導くか、その解法のコツを伝授します。※各科目 120分×4回の講座です。※冬期講習でも同一の講座を設置予定です。
地歴 公民	日本史：明治史(前編)	明治新政府の樹立～自由民権運動を単元として講義を行います。列強の接近により開国を余儀なくされた日本が、植民地化の危機にあった状況をいかに乗り越えて、明治新政府を成立させていったのかを眺めていきます。※通年カリキュラムの一環です。後編とセット受講してください。※オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
	日本史：明治史(後編)	明治新政府がいわゆる「大日本帝国」として確立していく明治期後半を単元として講義を行います。これまでの「アジアの中の日本」ではなく、「世界の中の日本」という視点で歴史を眺めることで複合的な理解を促します。※通年カリキュラムの一環です。前編とセット受講してください。※オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
	日本史：文化史特講A(古代)	古代文化(古墳、飛鳥、白鳳、天平、弘仁貞観、国風、院政期)を扱います。文化史用語は膨大な数がありますが、それでも文化「史」というからには「流れ」が必ずあります。政治・社会経済・対外関係など通史の流れをしっかりと関連付けることで文化史を「理解」して、武器にしましょう。
	日本史：文化史特講B(中世～近世前半)	中世～近世前半の文化(鎌倉、室町、安土桃山、寛永、元禄文化)を扱います。武家政権の誕生、ヨーロッパとの出会いなど、古代史とは異なる特徴をもつ時代だからこそ、通史の流れをしっかりと関連付けることで、文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。
	日本史：文化史特講C(近世後半～近現代)	近世後半～近現代の文化(化政、明治、大正、昭和、現代の文化)を扱います。現役生の多くが時間をかけないまま本番を迎えるこの単元を、得点源にすることは大きな武器になります。通史の流れをしっかりと関連付けることで文化「史」を理解するだけでなく、通史の知識の底上げも図ります。
	世界史(前編) / (後編)	現代史は古代史から習い始めている場合には時間が足りなくなってしまう省略されがちですが、全体的に出題される可能性が非常に高い分野です。かつ、人類の歴史の中でも特筆すべきことが多かった時代でもあります。人間としては是非知っておくべきではないでしょうか。この講習では政治史を中心に、第一次世界大戦～現代までを扱います。※前・後編それぞれ100分×4回です。※オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
	共通テスト 歴史総合・日本史探求/世界史探求(練成編)	大学入学共通テストで80%以上の得点を目指す受験生が対象です。日本史、世界史の2科目から必要な講座を選択してください。1講座 120分×4回です。日本史は原始～近代について時代別に、世界史は通史、文化史などの分野別に演習を行うことで、共通テストで必要な知識を確認します。
	共通テスト地理	イギリスのヨークシャー地方では毛織物・ランカシャー地方では綿織物が生産されますが、これには理由があります。南アフリカのアパルトヘイト廃止とソヴィエト連邦解体は共に1991年ですが、偶然同じ年になったわけではありません。以上2点は全て地理の知識で説明が可能です。この講習で、実際の地理の理論に触れてもらい、必要な知識・理論を認識しましょう。※オンライン会議アプリを利用した配信型の講座です。
	入試政治経済	夏期ユニットでは国際政治・国際経済を扱います。国内政治や国内経済に比べて受験生には馴染みが薄い分野ですが、それだけ差がつく分野です。練成ユニットに引き続き、暗記すべきところは暗記する、理解すべきところは理解する、これを明確に分けて講義し、問題演習でしっかりと定着させます。1講座 120分×4回で、2つのユニットに分かれています。
	共通テスト 公共・政経/公共・倫理(練成編)	大学入学共通テストで80%以上の得点を目指す受験生が対象です。政治経済、倫理の2科目から必要な講座を選択してください。1講座 120分×4回です。政治経済は国内政治、倫理は源流思想や日本の思想など、共通テストで必要な知識を確認します。
情報	共通テスト 情報I(練成編)	共通テストの情報Iで80%以上の得点を目指すための講座です。練成編では共通テストで必要な知識を確認します。科目が多い共通テストの対策の中で、なかなか学習機会を確保しづらい科目になりがちですが、当講座で効率的に得点の底上げを図ってください。※8月配信開始予定です。

※講座の内容は変更となる場合があります。